

【作成にあたって】

安心・安全な学校環境づくりのため、次の4点を柱としたDX安全点検を作成しました。

- 1 ペーパーレス、押印の廃止による安全点検の実施。
- 2 点検一覧表による迅速な要修理箇所の確認。 ※要修理箇所を色別表示
- 3 担当者による点検簿作成、点検簿一枚一枚の確認の負担をなくす。
- 4 各校の実態に合わせた点検箇所、点検項目の改変を可能とする。

【Ver2.2での改善点】

○マクロやスクリプトを一切使用せず、Googleフォームとスプレッドシートのみで完結できるようにしました。

○1つのスプレッドシートで、年間を通しての点検ができるようにしました。

○プルダウンにより、月別と点検箇所別の一覧表に出力できるようにしました。

【使用手順】

1 次の2つのファイル入手する。

- ・Googleフォーム (ファイル名: **安全点検フォーム2.2**)
- ・Googleスプレッドシート (ファイル名: **点検一覧表シート2.2**)

シートの種類	説明	備考
フォームの回答xx	フォームをリンクすると生成されます	
整形1～4	フォームの回答を整えます	
一覧(〇〇)	各月(回)の点検内容をまとめます	青色
場所別(〇〇)	場所別の点検内容をまとめます	赤色
リスト	フォームやプルダウンの修正に利用	シート最後

2 学校の実態に合わせ、Googleフォームの点検箇所、点検項目の修正、担当者の氏名入力を行う。

※参照【各校の実態に合わせた修正について】

3 GoogleフォームのリンクをChromeやEdgeにお気に入り登録する。

(例1)職員室のデスクトップPCに

(例2)職員PCに

(例3)職員のタブレットに

※タブレット持参による安全点検は理想ですが、克服すべき課題もありますね・・・

4 フォームの回答をスプレッドシートにリンクさせる。



5 リンクさせるスプレッドシートは既存のスプレッドシート(点検一覧表シート2.2)を選択する。

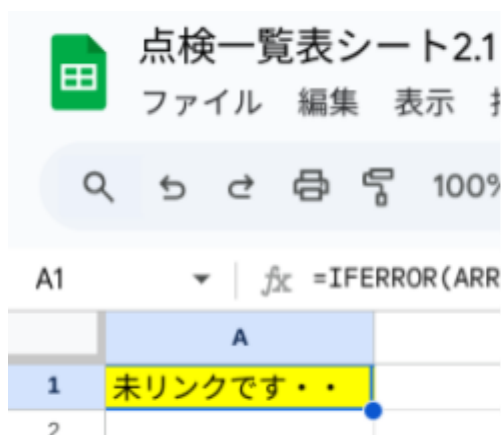


6 スプレッドシートにリンクされたフォームの回答とスプレッドシートの式内の番号を一致させます。(完了すると表示が変わります。)

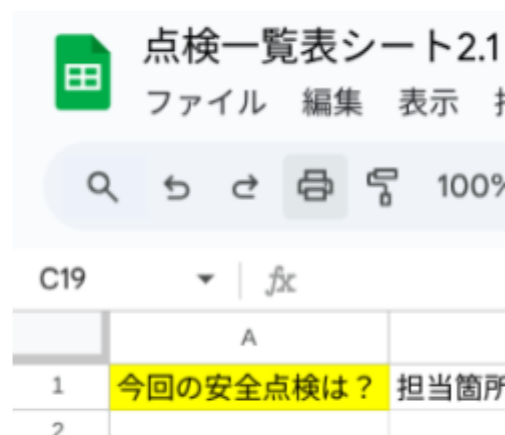
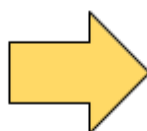
※整形1～4シート of セルA1に各2箇所 合計8箇所

=IFERROR(ARRAYFORMULA(IF(QUERY('フォームの回答 1' A:DB, "SELECT B,AZ,BA,BB,BC,BD,BE,BF,BG,BH,BI,BJ,BK,BL,BM,BN WHERE C='3 体育館・体育館トイレ・体育館倉庫

(例)フォームの回答 5がリンクされた場合、式内の番号も5に修正してください



※未リンクや番号が一致していない時



※回答と式の番号が一致した時

【各校の実情に合わせた修正について】

【安全点検フォーム】

○職員名-----適宜

○点検区分 ※既定値(このまま使った方がよいです。)

- 1 教室・特別教室・校舎各部屋等
- 2 階段・校舎トイレ・玄関・昇降口・中央通路等
- 3 体育館・体育館トイレ・体育館倉庫等
- 4 運動場・外トイレ・外倉庫・遊具等

○点検箇所及び点検項目(既定のもの)

区分	点検箇所	点検項目 ※は担当者のみ
1	21箇所	教室11 廊下10 ※理科室2 ※図工室2 ※家庭科室3
2	14箇所	※玄関・昇降口等5 ※トイレ5 ※階段4
3	1箇所	体育館9 トイレ5
4	1箇所	運動場15 トイレ5 遊具等18

※点検一覧表シートの最後に点検月、点検場所のリストを付けてあります。学校の実態に合わせて修正し、安全点検フォームにコピーしてお使いください。

【点検一覧表シート】

○プルダウンメニューの修正

フォームで点検月や点検箇所を変更した場合、一覧表の左上にあるプルダウンメニューも修正してください

○点検項目の修正

フォームの修正に合わせて、点検一覧表の点検項目も修正してください。

※フォームからコピーすることもできますが、スプレッドシートの仕様で縦書きの場合、縦棒が出ないので注意してください。

○一覧表の行数

点検月や点検箇所の変更に伴い、一覧表の行数も変更してください。

【その他の注意事項】

・点検しない項目には※が自動で付きますが、必須項目以外の点検忘れにも付いてしまいますので、よく確認してください。

(例)理科室のみの点検項目など